

令和7年度は長洲小学校創立150年目です。

# 長洲小だより 第11号

発行 長洲町立長洲小学校

長洲町長洲 1776 番地

Tel 0968 (78) 0109

【校訓】友愛 健康 努力



【学校教育目標】自立を目指す長洲っ子の育成 ～みんなで創る教育活動を通して～

【育てたい力】「表現する力」「協働する力」「続ける力」



←長洲小HPもご覧ください。

令和8年1月28日（水）

## 的ばかいガイドボランティア

1月18日（日）に行われた校区の伝統的な祭り「的ばかい」の会場で、本校児童20人（希望者）が、見物に来られた方々へ祭りの歴史や祭りに携わる人々の思いを伝えるガイドボランティアに挑戦しました。

昨年に続き2回目の取組でしたが、事前の学習や準備では、祭りの保存会、学校運営協議会委員、そしてPTA役員と多くの方々にフォローしていただきました。

当日は、見物に来られた方々に「話を聞いてもらっていいですか？」と自分たちから声をかけ、説明をしていました。用意したチラシを全て配り終えるほど、多くの方に説明することができました。祭りに参加する方から、「今年もありがとうございます。」との声もいただき、地域貢献とともに達成感を得ることができたと嬉しく思ったところです。



## 感謝して食べよう ～学校給食週間～

今月24日～30日は、「全国学校給食週間」です。

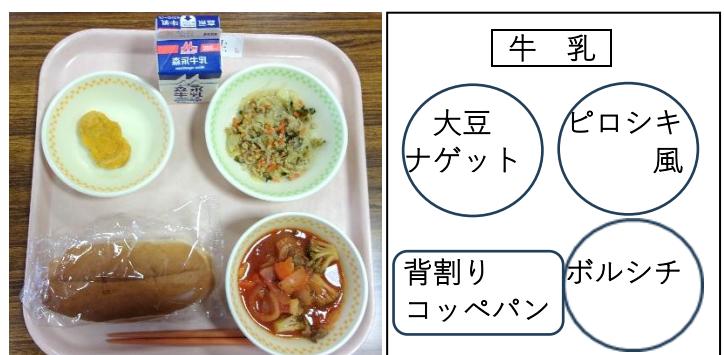
学校給食は、明治22年（1889年）、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回りお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していたそうです。その後、学校給食を国が奨励し全国へ広がりました。

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21年（1946年）12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

いつも給食を作っていたいいる荒尾市・長洲町学校給食センターでも、1月19日～23日を学校給食週間献立として、次のような給食をつくってくださいました。

みなさんが食べていた頃の給食と比べて、いかがでしょうか？

- ・19日　ふるさとまさんデー（宇城地区）
- ・20日　フランス料理（ポトフなど）
- ・21日　韓国料理（豆乳キムチスープなど）
- ・22日　学校給食開始当時の献立（麦ごはん・焼き魚など）
- ・23日　ロシア料理（下の写真です）



【23日の給食】